

2006 ゆりの木夏まつり

日時 8月26日(土) 15:00～21:30
27日(日) 15:00～20:30

よみせおたのしみ券は
会場内のお楽しみコーナー・模擬店
小野上物産展で使えます

ゆ り 北

第261号 (24期 第5号)

光が丘ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

発行責任者 塩 原 継 雄

ゆりの木夏まつりステージプログラム

8/26(土)	プログラム
15:00	ゆりの木保育園
15:40	ジュニアシンガーズ
16:30	赤塚新町小学校バトンクラブ &ティーチャーズバンド
18:00	SOUND BREAKERS
19:00	三叉路
20:15	SOUND BREAKERS
21:00	舞台終了

8/27(日)	プログラム
15:00	小野上温泉太鼓
15:30	ワイルドグリーンズ
15:55	小野上温泉太鼓
16:35	TAKASOUNDS
17:50	SOUND BREAKERS
18:50	ワイルドグリーンズ
19:45	SOUND BREAKERS
20:30	終了

* 予告なく変更されることがあります。

夏期限定バンド

ティーチャーズ

ゆりの木夏まつりの名物(?)バンドとして毎回初日のステージを賑わしているティーチャーズバンドで



ティーチャーズバンド陶酔のステージ
(写真はすべて今年の夏まつりから)

す。七回の出演を数え、今年は誕生八周年。華麗ならぬ加齢ぎみなバンドではありますが、子どもたちが少しでも楽しみにしてくれたら、この思いから今回も参加させて頂くことになりました。申し遅れましたがティーチャーズとは、ゆりの木北団地を学区域に含む赤塚新町小学校の教員が結成したバンドです。そもそも小学校の先生が地域の祭りにこうした形で参加することは、板橋、いやいや東京広しといえど、なかなかないと思われる。その意味でも類い希なバンドといえます。よほど出たがりの集まりかと思われる方もいると思いますが、さにあらず。

七年前、当時の六年生から「この地域にはゆりの木夏まつりというのがあるね、先生達もバンド組んで出てみたら」「おおっいいねえ、でも先生は楽器ができないからだめだ

ねえ。N先生ならギターできるからきいてみたらあ」そんな話もすっかり忘れた夏休み前、突然夏まつりの主催者から「先生たちのバンド名は？」まさに寝耳に水、青天の霹靂状態。怖れ多いので丁重にお断りをしたのですが時既に遅し。「じゃ先生なのでティーチャーズバンドにしておきますね」と駄目押しの一言。生返事を深く反省しつつも職業柄責任感だけは強い我々は「清水の舞台」から飛び降りる覚悟でバンドを結成。当時四人でのスタートでしたが回を重ねるうちに参加してくださる先生方も増え、舞台上でメンバーを入れ替えるといった大所帯にまでなりました。毎年メンバーも新陳代謝を繰り返して、まさにモーニング娘。状態。今回初参加の先生も含めて華麗(?)なる舞台を楽しんでいただければうれしいです。

'06 ゆりの木夏まつり

今年はさらに充実のステージ 出演者自己紹介



先生方もかなわない

赤塚新町小バトンクラブ

赤塚新町小学校のバトンクラブの子ども達は、ゆりの木夏まつりに出ることを一つの目標にして入ってきます。四月にクラブが発足するとすぐに、夏まつりに向けての準備が始まります。今年は六年生四人、五年生十人、四年生三人の、総勢十七人が集まりました。半分以上が昨年からのメンバーなので、曲決めから振り付け、バトン技術の教え合いも、すべて六年生中心に自分たちで行ってきました。バトンクラブ担当の先生方も、「私たちも練習して一緒に参加しましょう」と言い続けて二年目、いまだにバトンの初級の回し方も身に付かず、今年も断念した次第です。

さて、今年選んだ曲は、WISH(嵐)。夏休みの練習でますます腕をあげた子ども達の演技をどうぞお楽しみに。

楽しく歌って英語の勉強

ジュニアシンガーズ

ECCジュニアゆり北教室は、今年開設二十周年を迎えました。現在は小学一年生から主婦まで幅広い世代の方が在籍しています。小学生は、英語に慣れ親しむことが目標です。英語のゲームや歌、ダンス等を通して、子ども達は全身で自然に楽しく英語を身につけていきます。特に、英語の歌を覚えると良い勉強になります。楽しく歌って自然に文法も身につく、お薦めの勉強法です。ジュニアシンガーズのメンバーは小学生の希望者で構成されています。

す。ゆりの木夏まつりのステージは今年で三回目の参加になります。昨年はたくさんの方が見て下さいました。小学校でも英語が始まったので、今年は観客の皆様と一緒にさらに盛り上がりつつステージにしたいと思っています。

ワッショイ ワッショイ

ゆりの木保育園

ゆりの木保育園ゆりぐみの子どもたちが、昨年に引き続きゆりの木夏まつりに参加します。

手作りのおみこしをかついで登場し、舞台ではおそろいのハッピを着て「こども龍神まつり」を踊ります。昨年はじめて、おみこしをかついでゆりの木商店街周辺をねり歩きしました。ワッショイ、ワッショイのかげ声も、商店の皆様、近隣の方々の声援で盛り上がり、子どもたちのほは紅潮し、予想以上の喜びとなりました。一つのことをやりとげる喜びは、子どもにとって大きな力になります。地域のおまつりに参加し、はじめて味わえる貴重な体験と思っています。



ハッピー姿もかっこいい ゆりの木保育園園児たち



聞かせるやつら三叉路



恒例小野上温泉太鼓



堂々「ゆり北」初登場

ワイルドグリーンズ

「上々颱風」のベシスト西村直樹が、一昨年、毎月第二火曜日に上板橋のライブハウス「グリーンドア」で行われるセッションデーに参加しているミュージシャン達をまとめて立ち上げたバンドです。西村の地元ミュージシャン活動として、大泉学園のゆめりあ前での野外ライブ、ライブハウス「魔法の竜」出演等を行っています。

ロック、レゲエ、ジャズ、オペラをこちゃ混ぜにしたパワフルなサウンドをお楽しみください。

出演予定者は次のとおりです。

リーダー 西村 直樹
ピアノ 山崎 由美子
ギター 鈴木 イサク
ジャンベ1号 クラッシー
ジャンベ2号 マサ
ドラム 阿由葉 正徳
ベース 戸川 智章
オペラ 戸川 智章
ボーカル マダム 岸
ヒロノ

「とり」をつとめ続けて二十年 SOUND BREAKERS

皆様こんにちは。SOUND BREAKERSの岩崎です。ゆり北団地が出来て三年目の夏、十三号棟の篠崎さんが私の勤務先の上司だった縁で、ゆりの木夏まつり出演の声がかかりました。以来、子供からシニアの方まで幅広く喜んでもらえるようにと、ジャズあり、ラテンあり、歌謡曲ありと、色々取り組んで参りました。演奏の途中から聞く方、途中で帰る方、いつ来られても良いように、また日曜の最後に盛り上げる

雨、雨、雨のち晴

今年の青少年健全育成下赤塚地区委員会（青健）の八ヶ岳キャンプは、七月二十三日から二十五日まで少年自然の家・八ヶ岳荘で行われました。私はゆり北に引越してきて四年目ですが、今年初めて青健実行委員になり、初めて八ヶ岳キャンプに参加、班リーダーとして子供たちの面倒を見るのも初めてという初尽くしで、非常に不安な中にも楽しみ一日目（出発）

全国各地から水害情報が届く中、現地の天気は大丈夫とのこと、バス二台に子供たち五十八名と分乗して出発しました。

山荘について、初日の楽しみは飯盒炊爨です。小雨が降るキャンプ場で、子供たちは危険を顧みない包丁使いで材料をむいたり切ったり、薪でご飯を炊いたり料理に挑戦、おいしいカレーができました。

食後は疲れた体ですぐに寝入るかと思いましたが、やはり恒例の枕投げで締めくくっていました。二日目 朝からしとしとと雨降りです。

ようにプログラムを考えています。よろしく願います！

当サークルは足立区で三十年やっているJazzバンドです。毎週水曜日の夜と、月に二回、日曜日の昼から練習しています。見ているだけでなく演ってみよう、一緒に練習して祭りを盛り上げましょう。（連絡先 〇九〇・四〇九八・一二三七）

このほか、いずれもお馴染みの小野上温泉太鼓、TAKASOUND、三叉路が出演します。どうぞお楽しみに。

ハヶ岳キャンプ



飯盛山のハイキングは中止になり、白州にあるサントリーのミネラルウォーター工場とウィスキー博物館見学に変更されました。すばらしく清潔で機械化された工場の見学、おいしいミネラルウォーターの飲み比べ等、なかなか体験できないことに子供たちも興味津々という感じでした。

八ヶ岳荘に帰って食事の後は、お待ちかねのキャンプファイヤーです。それまで降っていた雨が、気持ちを通じたかのように準備を始める頃には上がっていました。ジュニアリーダーの中学生、高校生が企画したゲーム、ダンス、クイズを、赤々と燃え上がる火を囲んで心から楽しみ、花火をクライマックスに一日の盛り上がりを見ました。

三日目（最終日） 朝から雨です。

今日のお楽しみは「実践農業大学」の見学と実習です。到着する頃には雨もほとんど止み、ちよつと動物の臭いはしましたが、牛、ヤギ、ポニー等を楽しみました。見学が終わり弁当の頃には初めて太陽が顔をを見せて、広々とした牧場の広場でか

くれんぼ、鬼ごっこ、おしゃべり、みんな楽しんでいました。アイスクリームが配られたのですが特別おいしかったです。広場には小川が流れていて男の子たちは思いきり助走をつけて飛び越えたり、雨上がりの水溜りで滑ってビシャビシャになったり、久々の太陽の光を浴びてのびのびと汗をかいていました。

こんなふうにして無事二泊三日のキャンプが終わりました。子供たちはみんな楽しい思い出を持って帰ってきたようです。私も、地域の皆さん、役所の担当者、ジュニアリーダー等たくさんの方の力で子供たちが育まれていることを感じて帰ってきました。

今回中止になってしまった飯盛山のハイキングを、来年こそは実行できよう楽しみにしています。

（青健実行委員 梨本幸男）

ペットボトル・ペットボトル キャップの回収 その後

昨年十二月、ゆり北団地で板橋区によるペットボトルのモデル回収事業が始まり、今年五月までの半年間の回収量は一、八三九kg（六万三千本余り）になりました。よしや店頭での回収量が減っていない（よしや店員の話）ということは、それまで多くのペットボトルが「燃やさないゴミ」として捨てられていたということなのでしょう。実際、集積所によつては「燃やさないゴミ」が三割がた減ったと感じられることがあります。ボトルの出し方も、九割以上がラベルをはがし、中をすすいであり、回収に来る業者から「ゆり北のボトルはそのままチップ状にして原料に出来る」とほめられます。

また、昨年のゆりの木夏まつりでの実験回収から始まったPP（ポリプロピレン）キャップ・リサイクル

活動は二年目に入り、今年三月末までの回収量は二六〇kg、ペットボトルのキャップ十萬個分に上ります。ゆり北団地から始まった小さなキャップの分別収集という小さなリサイクル活動でしたが、今では大勢の方の理解と協力を得て光が丘団地全体に広がりを見せています。他地域の手本となるような回収が出来ているゆり北を誇りに思います。

PPキャップのリサイクル活動を手伝ってくださる方、十一一六〇八市東（☎三九七六・三一一五）までご連絡ください。

（PPキャップ・リサイクル・ボランティア代表 市東隆光）

講習会「障がい者の地域での交流と 要援護者について」に参加して

今年度から始まった「板橋区障がい者理解促進事業」に関連して、七月二十日赤塚公会堂で講習会が行われました（板橋区では、今年から「障害者」ではなく「障がい者」と表記することにしています）。この日は、身体不自由者、聴覚障がい者、視覚障がい者三人の方から、それぞれ災害時にどのような支援をしてほしいかの思いを聞きました。また、実際に誘導の方法や情報の伝え方を体験しました。

自治会（住民防災組織）にとつて、災害時に援護を必要とする人（要援護者）を把握することは喫緊の課題ですが、その方法は「要援護者名簿登録制度」によるしかないのが現状です。しかし、個人情報を知られるのを嫌う人、制度を知らない人もいて、万全とは言えません。ハンデを持つている人が「支援してほしい」と何時でも言える環境づくりには、日頃からの地域の人々との交流が一番、だと感じました。

（防犯防災部 野口）

ゆりの木児童館から 「すくすくサロン」へようこそ

七月二十日、ゆりの木児童館に「すくすくサロン」がオープンしました。これは、板橋区が子育て支援の一環として、区内九カ所の児童館に設置した幼児専用ルームです。未就学のお子さんが保護者の方といっしょに児童館の開館時間中はいつでも自由に遊ぶことができます。幼児専用改装したお部屋はとても明るく、赤ちゃんから安心して遊ばせることができます。こどもを遊ばせながら、お母さん同士もおもだちをつくり、おしゃべりを楽しみ、ゆったりした時間を過ごすことができます。

ちよつと外に出てこんな時間をもつことで、子育てのストレスもかなり解消されるのではないのでしょうか？そんなことが気軽にできる場所として「すくすくサロン」をご利用ください。ひとりでも多くの方が、こどものいる生活が「楽しい」と感じていただけるようになればいいなと職員一同願って、応援していきたいと思っています。

これからの社会を担うこどもは、ご両親だけではなく、地域にとつても大切な宝です。地域の中でこどもたちが健やかに、のびのびと育っていくことは、みんなの願いであり、地域を元気にしてくれるエネルギーにもなります。

小さいお子さんをお持ちの方、是非一度児童館に立ち寄ってみてください。明るく良い部屋ができたと思っ負っています。子育てを通して楽しい世界を広げていきましょう！

☎三九七七・二六五一

三九七七・二七二三